

HOYA株式会社

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料
2022年8月4日

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、現在問題となっている新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

決算ハイライト

1. 過去最高の四半期売上・利益を更新
2. ライフケア事業は、中国においてロックダウンの影響があったものの、着実な成長を達成
3. 情報・通信事業は、HDD基板において2.5”の特需がなくなったものの、半導体ブランクスやFPDマスクの好調により増収を確保
4. 追加の自社株買いを決定

業績概況

(億円)	Q1 FY21	Q4 FY21	Q1 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,580	1,696	1,802	+14%	+6%
税引前四半期利益	510	538	615	+21%	+14%
四半期利益	413	401	484	+17%	+21%
cf. 通常の営業活動 からの利益	494	481	542	+10%	+13%
cf. 通常の営業活動 からの利益率	31.3%	28.4%	30.1%	-1.2ppt	+1.7ppt

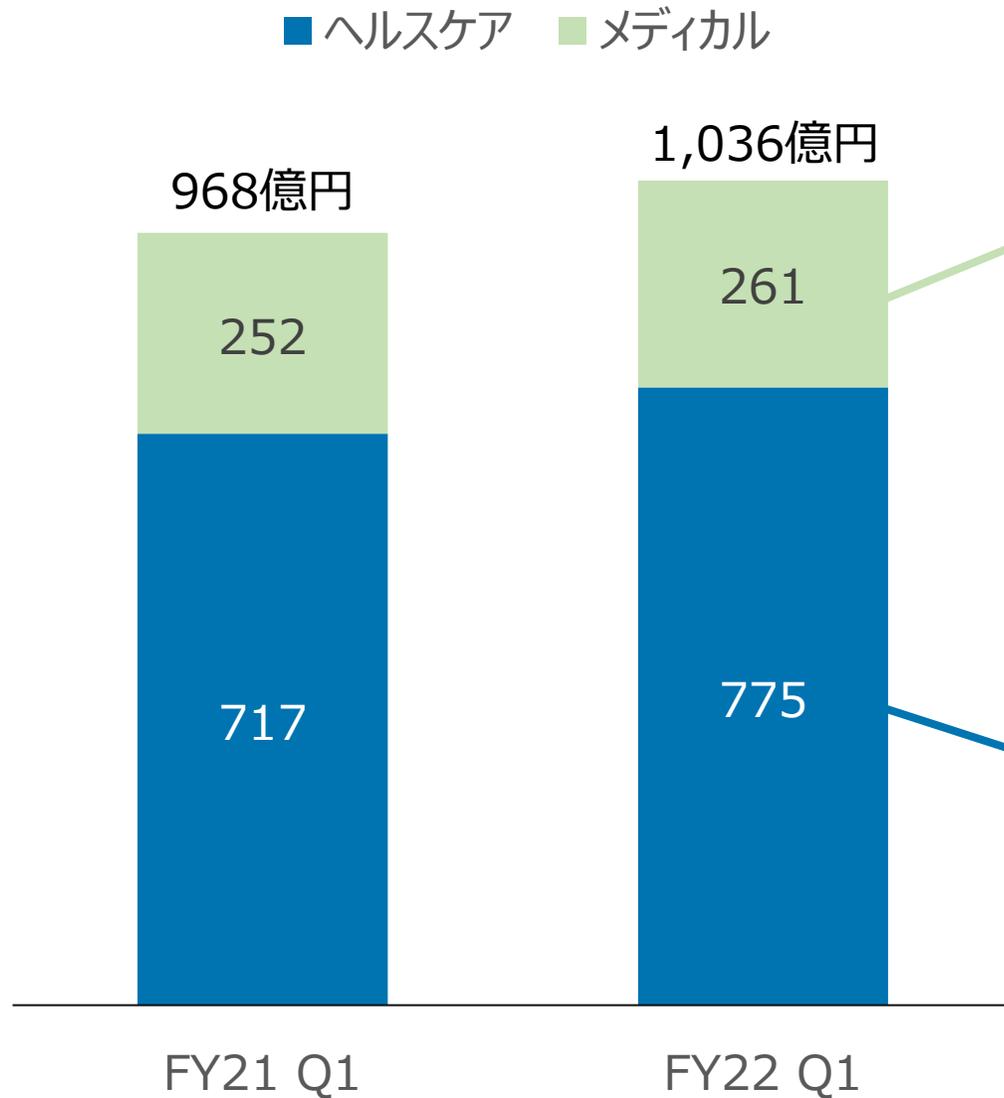
- 円安により売上収益は133億円、税前利益は43億円のプラス（当期レート USD@131.25円、EUR@138.75円）
- 為替換算影響を除いた実質成長率は売上収益+6% YoY、税前利益+12% YoY
- 税前利益と営業利益の差異は、主に為替益（68億円）による

ライフケア事業

(億円)	Q1 FY21	Q4 FY21	Q1 FY22	YoY	QoQ
売上収益	968	1,061	1,108	+14%	+4%
税引前四半期利益	218	195	250	+15%	+28%
cf. 通常の営業活動からの利益	206	198	216	+5%	+9%
cf. 通常の営業活動からの利益率	21.3%	18.6%	19.5%	-1.8ppt	+0.9ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益+7%、税前利益+8%

ライフケア事業 各製品の概況 (為替ニュートラル)



内視鏡 [YoY -3%]

中国のゼロコロナ政策や部材不足がマイナス影響。調達ルート拡大等により、バックログ解消を目指す

眼内レンズ [YoY +8%]

中国ロックダウンが影響も、日本での手術件数が順調に回復。ソフトローンチ済みの3焦点IOLの上市を進めていく

人工骨ほか [YoY +12%]

医薬品開発等に使われるバイオセラミックスが好調

メガネレンズ [YoY +7%]

高付加価値製品の拡販等により順調に成長。チェーン店攻略を加速させるべく、体制を強化

コンタクトレンズ [YoY +12%]

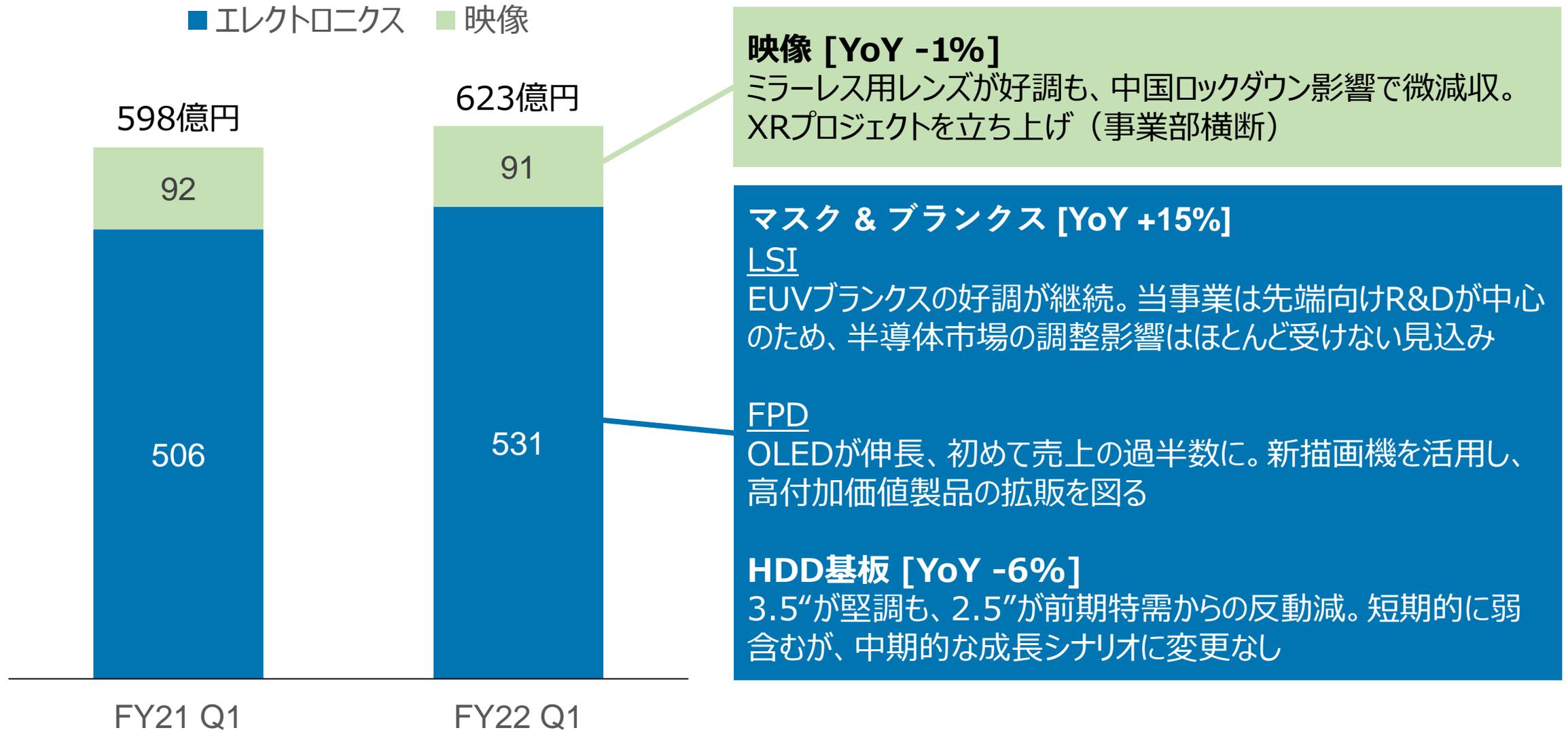
行動制限がないことで、コンタクト装用機会が増加。足元の国内における感染の波については慎重にモニタリングを行っている

情報・通信事業

(億円)	Q1 FY21	Q4 FY21	Q1 FY22	YoY	QoQ
売上収益	598	623	683	+14%	+10%
税引前四半期利益	300	305	356	+19%	+17%
cf. 通常の営業活動からの利益	297	296	335	+13%	+13%
cf. 通常の営業活動からの利益率	49.6%	47.5%	49.1%	-0.5ppt	+1.6ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益+4%、税前利益+9%

情報・通信事業 各製品の概況 (為替ニュートラル)



貸借対照表/キャッシュフロー関連

株主還元

- 600億円の自社株買いを7/15に完了。全株消却予定
- 自社株買い+配当で300億円以上キャッシュアウトしたものの、為替変動の影響でキャッシュが300億円以上増加し、現預金はQoQで同水準となった
- 本日の取締役会(8/4)で上限600億円の自社株買いを決議

設備投資*

- Q1実績は74億円 (YoY -25億円)
- FY22は年間で300億円前後を見込む**

減価償却費

- Q1実績は120億円 (YoY +17億円)

* CFベース。有形固定資産の取得

** キャッシュアウトベース。前回から見込みに変更なし

Q2/中間予想

Q2は、売上収益は増収を見込むものの、製品ミックスの変化や為替損益を保守的に見積もったこと等により、利益はYoYフラットを見込む。

FY2022 Q2予想

(億円)	Q2 FY21	Q2 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,626	1,798	+11%	-0%
税引前四半期利益	540	535	-1%	-13%
四半期利益	430	421	-2%	-13%

FY2022 中間予想

(億円)	中間 FY21	中間 FY22	YoY
売上収益	3,206	3,600	+12%
税引前四半期利益	1,050	1,150	+10%
四半期利益	843	905	+7%

想定為替レート
USD@125円
EUR@135円

新任取締役4名が就任

- 長年HOYAの成長をけん引してきた鈴木氏、社外取締役の内永氏が退任
- 新任取締役として、社外に長谷川氏と西村氏が就任、社内にCEOの池田とCFOの廣岡が就任し、取締役は8名体制に

新任社外取締役



長谷川 隆代
昭和電線ホールディングス
株式会社
代表取締役社長



西村 美香
GILDE HEALTHCARE
PARTNERS
Operational Partner

新任社内取締役



池田 英一郎
代表執行役CEO



廣岡 亮
代表執行役CFO

社外取締役のスキルマトリックス

- 長谷川氏は技術開発、西村氏は海外メディカル業界の知見を発揮されることを期待
- なお、役員（取締役+執行役）の女性比率は前年同期の11.1%から30%に上昇

	社外取締役のスキル						
	企業経営	グローバル ビジネス	財務/会計	IT/ テクノロジー	M&A	人材育成/ ダイバーシ ティ	メディカル
浦野 光人	●	●				●	
海堀 周造	●	●		●			
吉原 寛章	●	●	●	●	●		
阿部 康行	●	●		●	●		
長谷川 隆代	●	●		●		●	
西村 美香		●			●	●	●

本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2022年4月～2023年3月の会計期間を2023年3月期もしくはFY22と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 「通常の営業活動からの利益」は、税引前四半期利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。
<https://www.hoya.com/investor/kessan/>

Innovating For a Better Tomorrow

HOYA